

瀬戸内圏研究 シンポジウム

～瀬戸内圏の景観とエコ・ツーリズム～

日 時：平成19年3月5日(月)
13:30～16:30

場 所：サンポートホール高松
第1小ホール

主 催：国立大学法人香川大学
後 援：経済産業省四国経済産業局
国土交通省四国地方整備局
香川県
高松市
社団法人香川経済同友会
NHK高松放送局
四国新聞社



－開催にあたって－

瀬戸内海に隣接する多くの地域は、自然環境、歴史、文化、経済、輸送の面から共通点が多く、ひとつの地域として捉えられます。海上輸送や瀬戸内海文化などの側面から議論されることは多いですが、それらを総合的に理解しようとする試みは少ないと思われます。瀬戸内海は日本で最初の国立公園であり、その美しさや文化・環境資源としての価値を日本はもとより世界に向けて発信する意義はきわめて大きく、そのことが大いに期待されています。また、瀬戸内圏に関する知的資源を総合的に集積し、それらを発信する拠点が求められています。

瀬戸内圏の地域は経済や環境などの面での共通の課題を持つと同時に、他の地域には見られない固有の課題も持っています。香川大学は、地域の知的資源を集積してそれらの課題に取り組み、地域の活性化に貢献したいと考えています。

香川大学は、地域と連携しながら瀬戸内圏に関する情報集積及び地域活性化のための拠点になることをめざしています。今回のシンポジウムはその出発と位置づけており、活発な議論を期待しています。

国立大学法人香川大学長 一井 眞比古

● 第Ⅰ部 基調講演

特別講演

「癒しの景観」

四国霊場58番 仙遊寺住職

小山田 憲正 氏



昭和25年生まれ
「四国へんろ道文化世界遺産化の会」代表
えひめ地域づくり研究会議運営委員
地域づくり研究会「源流」会長
「創心舎」空手道場館長
保護司
民生児童委員

講演概要

「四国へんろ道文化」を世界遺産にと運動を始めて十年余り、多くの人の協力を得て今年度の結果は文化庁で継続審議となりましたが、来年への第一歩と考えています。

私たちは、「癒し」「ボランティア」「文化交流」「環境保全」と四つのキーワードを伝える活動をしてまいりました。

毎年全国から多くの人々が四国遍路にやってまいります。近年増えている歩き遍路の方々は優しいお接待に感謝し、霊峰から大河、太平洋の大海原から内海へと円環する四国の自然に心を癒されています。

私が住職をしています仙遊寺は標高三百四十メートル。そこから望む瀬戸内の風景は江戸時代の巡礼記に「錦絵のようだ」とたとえられています。

静かに島々を浮かべている瀬戸内の海は、千数百年の昔は、大陸からの文化が行き交う交通の要衝でありました。水軍の活躍を経て二百年程前に大島四国、半島四国、小豆島四国と、いくつもの準四国がつくられ、島外からの人々を受け入れてきました。

瀬戸内の風景、それは自然と人々の生活がつくり出したもの。

研究報告

「瀬戸内圏の環境法」

香川大学法学部 助教授

山田 健吾

略 歴 昭和45年生まれ 広島県出身
平成 5年 専修大学法学部卒
平成 8年 名古屋大学大学院
法学研究科博士前期課程修了
平成11年 名古屋大学大学院
法学研究科博士後期課程単位取得退学
平成11年 香川大学法学部専任講師
平成13年 香川大学法学部助教授
現在に至る

報告概要

瀬戸内法が制定施行されて、30年以上が経過しました。この間、瀬戸内海の環境汚染対策や環境再生のための取り組みがおこなわれてきました。しかし、これらの対策・取り組みは、瀬戸内海の「普遍性」と「特殊性」に応じたものだったのでしょうか。また、瀬戸内法は、この「普遍性」と「特殊性」を踏まえた仕組みを用意しているといえるのでしょうか。これらの問題についてみなさんと一緒に考えたいと思います。

研究報告

「瀬戸内圏の景観」

香川大学工学部 教授

土井 健司

略 歴 昭和35年生まれ 愛媛県出身
昭和59年 名古屋大学工学部卒
平成元年 名古屋大学大学院
工学研究科博士後期課程修了
平成元年 名古屋大学工学部助手
平成 3年 東京工業大学工学部講師
平成 6年 東京工業大学
情報理工学研究科助教授
平成13年 香川大学工学部教授
現在に至る

報告概要

自然景観は一流、インフラ景観は二流、建築物景観は三流。今日の瀬戸内の風景は、これらの景観要素が玉石混交した姿です。これに対して、かつての瀬戸内の風景美はセンス・オブ・プレイス（人と自然）とソーシャル・キャピタル（人と人）を湛え、多島美・みなと・伝統的な家並みが共同創造性を発揮した姿でした。本報告では、瀬戸内圏を人と自然との交感の場であると共に歴史・文化・コミュニティの蓄積装置と見なし、臨海部～島々をつなぐ広域生活圏の地域づくりと景観再生の方法論を示します。

● 第Ⅱ部 パネルディスカッション

「知」の活かし方－瀬戸内圏研究の拠点に向けて－

パネリスト



香川県政策部長
山下 幸男 氏

略 歴

昭和24年生まれ 香川県出身
昭和47年 横浜市立大学商学部卒
昭和47年 香川県入庁
平成12年 香川県総務部財政課長
平成14年 香川県政策部次長
平成16年 香川県知事公室長
平成18年 香川県政策部長
現在に至る



奈良県立大学 教授
西田 正憲 氏

略 歴

昭和26年生まれ 京都府出身
昭和48年 京都大学農学部卒
昭和50年 京都大学大学院
農学研究科修士課程修了
昭和50年 環境庁入庁、
国立公園の管理に従事
平成12年 奈良県立大学地域創造学部教授
現在に至る



四国旅客鉄道株式会社
取締役会長
梅原 利之 氏

略 歴

昭和14年生まれ 京都府出身
昭和36年 京都大学工学部卒
昭和36年 日本国有鉄道入社
昭和62年 西日本旅客鉄道(株)取締役
平成 8年 四国旅客鉄道(株)代表取締役専務
平成18年 同 取締役会長
現在に至る



NPO DREAM ISLAND
立花 律子 氏

略 歴

昭和37年生まれ 香川県出身
昭和60年 社団法人小豆島観光協会入社
平成 9年 同 事務局長
平成18年 同 退職
平成18年 NPO DREAM ISLAND起業
(NPO法人申請中)
現在に至る

コーディネーター

香川大学地域マネジメント研究科 教授
緒方 俊則

略 歴

昭和36年生まれ 熊本県出身
昭和60年 東京大学法学部卒
昭和60年 自治省入省
平成 5年 徳島県財政課長
平成15年 滋賀県総務部長
平成18年 香川大学地域マネジメント研究科教授
現在に至る

スケジュール

13:30～ 開催挨拶

一井眞比古

香川大学長

来賓挨拶

倉持 隆雄氏

文部科学省政策評価審議官

● 第Ⅰ部 基調講演

13:50～ 特別講演

「癒しの景観」

小山田憲正氏

四国霊場58番 仙遊寺住職

14:20～ 研究報告

「瀬戸内圏の環境法」

山田 健吾

香川大学法学部 助教授

「瀬戸内圏の景観」

土井 健司

香川大学工学部 教授

● 第Ⅱ部 パネルディスカッション

15:10～ 「『知』の活かし方ー瀬戸内圏研究の拠点に向けてー」

パネリスト

山下 幸男氏

香川県政策部長

西田 正憲氏

奈良県立大学 教授

梅原 利之氏

四国旅客鉄道株式会社 取締役会長

立花 律子氏

NPO DREAM ISLAND

コーディネーター

緒方 俊則

香川大学地域マネジメント研究科 教授

16:25～ 閉会挨拶

角田 直人

香川大学理事(連携・評価担当)

司 会

前田 肇

香川大学理事(学術担当)

MEMO